

ワークショップ  
**ショコラ DE 絵画**

CACAO1000%

# ワークショップ 「ショコラ DE 絵画」

## ◆ 内容

板チョコレートをキャンバスに、チョコレートで絵を描いて、オリジナルチョコを作つてみよう!!

開催場所/東北芸術工科大学学食 2 F

日程/2012年2月14日(火)

時間/10:00~11:00

料金/1名様 100円

備考/エプロンを持参でお願い致します。

コンセプト: プレゼント

実際の所要時間 約70分 内訳: 60分デコレーション 10分ラッピング(個人差あり)

## ◆ 用意したもの

板チョコ ミルク、ブラック、ホワイト(各5枚ずつ)

チョコペン 白、茶、水色、ピンク、黄色、みどり(各2本ずつ)

マリービスケット

きのこの山

たけのこの里

マーブルチョコ

ココアパウダー

粉砂糖

アラザン

カラースプレー

チョコチップなど



鍋

ガスコンロ

スプーン

フォーク

カップ

ケース

クッキングペーパー

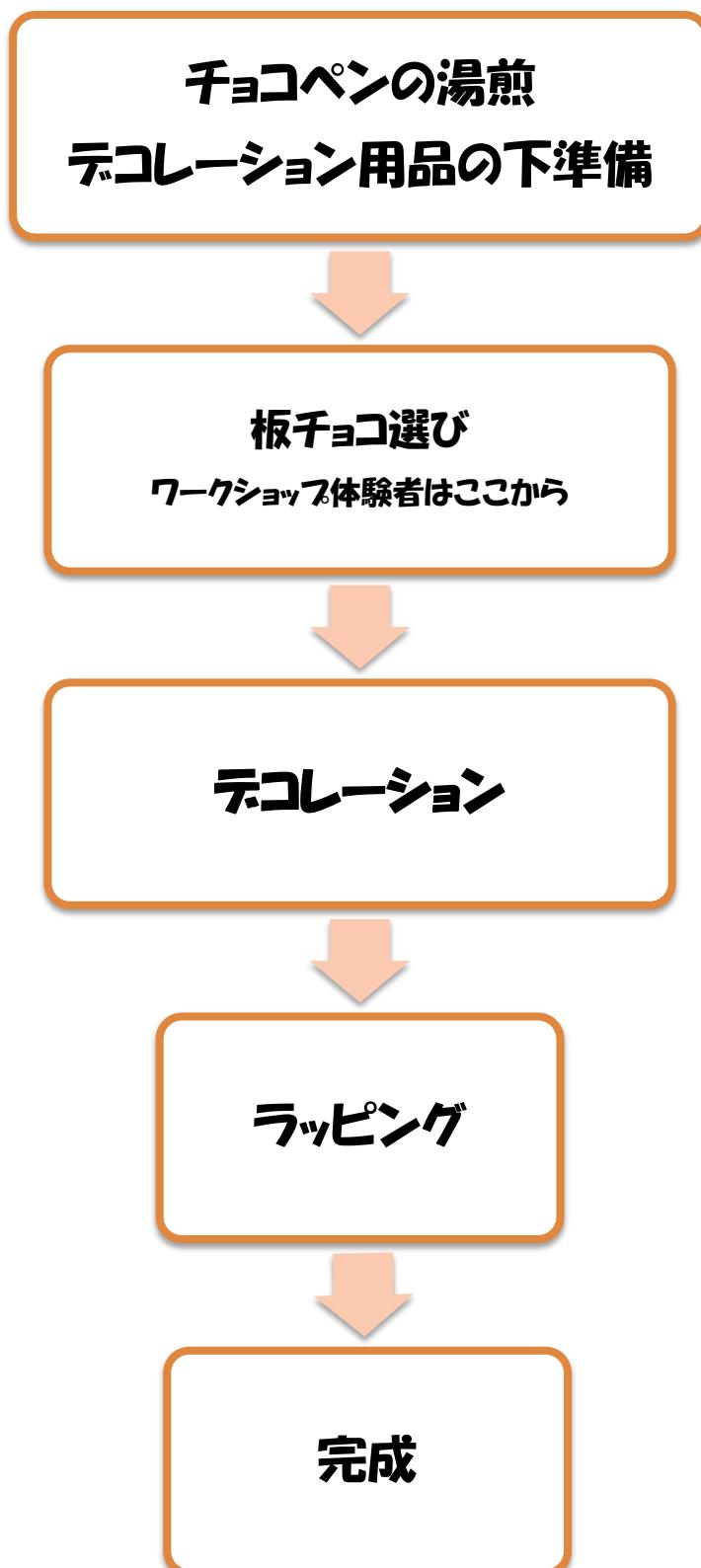
ラッピング用品

リボン 4種 など



# ワークショップ 「ショコラ DE 絵画」

◆ 手順



# ワークショップ 「ショコラ DE 絵画」

## ◆ 作業の様子



←下準備  
デコレーション用品アラザン、カラースプレーなどの小分け



←板チョコを選ぶ  
割れているというハプニングがありました。



←思い思いにデコレーション中  
みんな結構夢中になっていました。

# ワークショップ 「ショコラ DE 絵画」



←ラッピング完成



←ラッピング中  
意外と苦戦しつつ



←ラッピング完了

# ワークショップ 「ショコラ DE 絵画」

## ◆ 反省・感想など

やってみての感想は準備不足を感じる面も多かったが、皆さんが楽しそうにやっていたのはよかったです。人数が少なかったために和気藹々とした雰囲気で出来たので、少人数制のほうがよいと思われる。

準備不足として感じた点は、サンプルがなかったこと、作品のテーマがはっきりしていなかったことが挙げられる。具体的なテーマを設定した方が、作品の完成像をイメージしやすくなるうえ、作品を見せ合った時にそれぞれの個性が引き立つのではないかだろうか。また、「エプロンを持参して下さい。」など、事前にアナウンスするべきことをきちんとしていなかった事も反省点として挙げられる。

しかし、上記のような反省点はあるものの、このワークショップの目的である交流と活動・作品を通して絆を深めることに成功したと実感している。大切な人への「贈り物」というテーマに沿って制作していただいた作品は、どれも参加者の自由な発想力が表れており、企画した当方のチームも楽しませていただいた。それぞれ作品を見せ合ったり、作ったものを大切な人へ届けたりと、“チョコレートが繋ぐ人々の輪”という、本展覧会のコンセプトに沿ったワークショップになったと感じている。

参加して下さった皆様に心からの感謝と、このワークショップを機に、これからの方々のチョコレートライフが充実致しますことを願っています。

チーム CACAO1000%一同より